

絶縁油中の微量PCB分析

KBG-050

絶縁油中の微量ポリ塩化ビフェニル(PCB)に関する簡易測定法マニュアルに基づいた、絶縁油中のPCB分析を行っています。PCBは、絶縁性、不燃性などの特性によりトランス、コンデンサといった電気機器をはじめ幅広い用途に使用されていました。ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法により、平成28年7月までに処理を行う義務があります。

[PCBが使われている機器]

PCBは電気機器用の絶縁油、加熱及び冷却用の熱媒体並びに感圧複写紙等に利用されていました。PCBを含む代表的な電気機器には、高圧トランス、高圧コンデンサ及び安定器があります。

- 高圧トランス(発電所の変圧器、工場・ビルの受電設備、鉄道車両)
- 高圧コンデンサ(送電線)
- 低圧トランス・コンデンサ(蛍光灯の安定器、家電製品の部品)
- 柱上トランス(配電用)
- OFケーブル(絶縁油を用いた地中送電線)

【環境省HPより】

[分析方法]

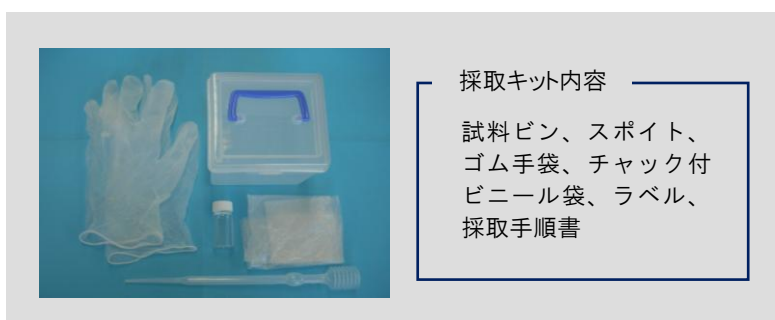
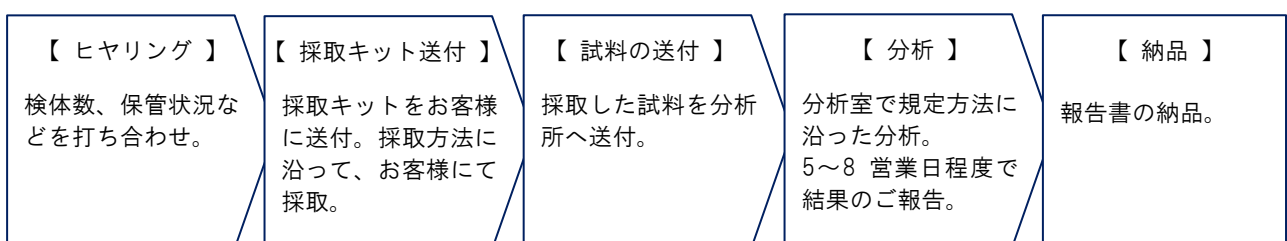
- 絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定法マニュアルに基づいた分析
 - 簡易定量法(機器分析法)
高濃度硫酸処理/シリカゲルカラム分画/キャピラリーガスクロマトグラフ/電子捕獲型検出器(GC/ECD)法

[絶縁油PCB廃棄物の基準]

- 絶縁油中のPCB濃度が0.5mg/kg以下であるときは、PCB廃棄物に該当しない。

【平成16年4月17日付環廃産発第040217005号産業廃棄物課長通知】

[ご依頼の流れ]



- ※ 分析のために採取した試料を運ぶ行為は、産業廃棄物処理法及びPCB特別措置法の適用を受けません。
- ※ 分析後に余った試料は、返却致しません。
(平成16年2月17日 環廃産発第040217005号)